諸声上げよ 意気高く 百十伝わる 篝火よ 蔦壁照らす 赤き火はったかべて

星降る北は おき空 寮友に負けじと 先へ行けと ま

君よ恵迪 北の星 応え 轟き 廻る酒 できょう ゆく さけ 汽笛が街を 切り裂けば

炬燵布団で 蠢くは

君が心よ清からん その身醜く 明ぁ (日を夢見る あったとて 若学者

靄こめ朝日 ひとふ 一振り天を 赤 き 槍 り 朝ぼらけ 割りたまえ

君ぞ苦難の 望みなれ

五.

二百の階段第一歩 君忘るるな 新たら しき日々 笑え誠なれ その心 朝は来た